



## 「一人ひとりの予防が大事な人を守る！」

校長 青海 正

願いが一つ叶うとしたら、3年生が無事に志望する上級学校の入試日を迎え、ベストコンディションで最善を尽くせることです。

昨年来、世界を翻弄（ほんろう）しているコロナ感染症はその勢いが収まることなく、国内感染者数の最高を更新し、現在も感染が拡大しています。日本では、新型コロナは、2020年1月に初めて確認されてから、もう2年を過ぎました。

一般的に、ウイルスは増殖や感染を繰り返す中で、少しずつ変異していくもので、昨年はデルタ株、昨今ではオミクロン株という新型コロナウイルスの変異株が猛威をふるっています。コロナウイルスの感染の経路や要因は、接触感染、飛沫感染があります。ドアノブやタッチパネルなどから手や指に付いたウイルスが、鼻や口から入って粘膜に付いて感染してしまうのが接触感染、会話中のしぶきやくしゃみ、咳により、ウイルスを含む飛沫や粒子が飛んで、吸い込んで感染するのが飛沫感染です。さらに大声で歌ったり、しゃべったりすると、マイクロ飛沫という5μm（マイクロメートル）以下のごく小さな飛沫が出ます。この飛沫は少し離れた距離を長時間、空中をただよい続け、これを吸い込むと感染する危険性があります。換気の悪い密閉された空間は危険なので、換気してマイクロ飛沫を吹き飛ばします。感染リスクが高まるマスクなしでの会話、トイレや特別教室等の共用スペースでの感染、給食や更衣室等におけるマスクを外す瞬間に要注意です。

ワクチンを接種した人も含め、飛沫防止効果の高い不織布（ふしょくふ）マスク等を正しく着用し、こまめな手洗い、手指消毒、体調管理、三密回避、換気といった基本的な感染対策を徹底しましょう。一人ひとりの予防が大事な人を守ります。みんなの協力が必要です。つらいことは必ずいつかは終わりが来て、その後に幸せが訪れます。明けない夜はありません。止まない雨もありませんから…。3年生の健闘を祈る！



### 大田区立中学校書き初め展（志茂田中生作品）



### 2月の予定

2月10日（木）	私立一般入試3年
2月14日（月）	生徒朝会
2月16日（水）	ネットルール教室
2月18日（金）	避難訓練
2月21日（月）	都立前期入試3年
2月24日（木）	学年末考査26日まで
2月26日（土）	新入生保護者説明会
2月28日（月）	振替休業日

## チーム志茂田の文化祭

文化祭実行委員会 主任教諭 平沼貴史

1月20日(木)、展示発表の前日準備を終えた夜の体育館。フロア～壁面には所狭しと生徒の作品が並んでいる。普段とはまるで異なる風景だ。

展示されている素晴らしい作品の数々は、生徒たちの日々の積み重ね、学習活動の成果だ。作品に書かれた氏名を見て、勝手ながら生徒達の顔を思い浮かべる。作品に込めた思いや、思うように進まず頭を抱えたであろう様子、完成した時の達成感溢れる表情、真剣に制作に励む生徒達の眼差しを想像する。作品からはその生徒の物語が感じられ、時間の許す限り見入ってしまう。

ところで展示が出来ず、残念なものがある。可能であるならば保護者の方々、地域の方々にはぜひご覧いただきたい。「志茂中生の準備/片付け」である。数時間前には慌ただしく机や作品が運び込まれ、たくさんの生徒達の活気溢れる展示準備が終わったばかり。その時の様子を思い返しながら、前日の夜の静まりかえった体育館を眺めるのも私の密かな楽しみの一つだ。準備の際は至る所から生徒の声が聞こえる。進んで仕事を探す生徒のなんと多いことか。その表情は輝かしい。なんとかしてこの様子を展示出来ないものか、と本気で思っている。今年の片付けも早かった。係生徒に加えて部活に参加する生徒は片付けを手伝う。係生徒の指示を受けて、力仕事は任せろ、と多くの生徒が力を合わせる。「 $1 + 1 = 2$ 」という数学的な常識を壊す「チーム志茂田」のパワーは凄まじい。ものの数十分で体育館は普段の姿に戻っていく。見よ！！これが志茂田の生徒達だ！！

志茂田中では秋の合唱コンクールと冬の展示と合わせて文化祭となっている。各クラス2名の実行委員はとてもよく働き、責任をもって取り組んでいた。教職員一同、皆さんには心から感謝したい。最後に…1月の生徒朝礼では、感染症拡大防止のため3学年の学年閉鎖となり、文化祭実行委員長最後の感動的な挨拶を全校生徒へ披露する場がなかった。この機会は2月の生徒朝礼に延期する。生徒の皆さんには楽しみにしていて欲しい。

### 生徒の作品をご紹介します

